

図書館運営は

今後どうなる？

上田 欣也議員



ごみ減量大作戦について

上田 何を目指して、どのように展開してきたのか。またその成果は。

環境衛生課長 平成25年検討委員会を組織、意見・提案をまとめ、それに沿って、ごみ減量に努めてきた。環境保全組合への搬入量を抑えることが公金の支出削減にもつながる。新環境工場建設費も、その9割が搬入量で決まるため、ごみ減量で負担金も減る。平成26年度は各区で減量説明会を開いたが、約2,500人の参加があった。

平成27年2月までの1人1日当たりの家庭可燃ごみ排出量は、465グラムで、前年比1グラム、わずかながら増加が止まり減少に向かっていることを期待している。

上田 45リットルの可燃ごみ袋は、1枚20円だが、これを処理するのにいくらかかるのか。

環境衛生課長 すべての経費を計算すると、45リットルで171円かかっている。

市立図書館について

上田 他市町と比べて、合志市にしない良さとは。また運営方法の見直しはどうなっているのか。

生涯学習課長 西合志図書館併設の天文台や移動図書館のきめ細かな活動が挙げられる。運営に関しては、経験豊富な司書の配置が必要とのことで、協議会から業務委託が望ましいと1月に答申が出ている。司書にはレファレンスに応えるためのスキルアップが、さらに求められる。

市長 市民サービスの向上につながるように、図書館だけではなく、各課で自覚を持ってもらい、一人でも多くの職員に自己改革を望みたい。



はかるだけ、ごみダイエット

誰もが安心して暮らせるまちづくり

来海 恵子議員



来海 高齢者の一人暮らしで、ごみ出しができない人がいます。杜協のぼかぼかサービスもまだ一部ですし、その200円を払うのが難しい人がいます。見守りを兼ね、規定を設けて自宅前にごみを出し収集されたらいかがでしょうか。

環境衛生課長 今後の合志市の特徴として高齢化が進み単独世帯が増えて行く中で、さまざまなサービスの一つとしてごみ出しのあり方についてどういう支援ができるか関係各課と勉強を重ねます。

来海 高齢者はどんなサービスがあるのか非常に分かりにくい。離れて暮らしている子どもたちが、合志市で親に安心して暮らしてもらうために、情報を集めたサイトをHPにリンクさせたいかがか。また、高齢者向けの情報を冊子にして、希望者に配布したいかがか。

高齢者支援課長 本来なら包括支援サービスの窓口に来てもらって聞き取りする。遠方の方はHPを利用しており、分かりづらいがセキュリティ

の関係がある。今後検討していくので、それまでは介護保険の冊子を希望者に配布しているので、利用してほしい。

来海 南部地区も、税金対策で壊すのに壊せない空き家が各地に点在しています。高齢者や夕方子どもたちが集う居場所が熱望されていますが、市が仲立ちできないでしょうか。

高齢者支援課長 28年4月に新たな介護保険事業がスタートして、住民主体による支援ができるので、空き家を利用したサービスを提供する場合、運営にかかる経費として家賃への対応ができるか検討してみます。

来海 これらの質問に対して、再選されたら9月議会で検討結果を伺いますのでよろしく願います。



高齢者の居場所づくり（空き家利用）

健康福祉常任委員会

委員長 木村 祐一
委員 神田 公修
副委員長 丸内 三三
委員 尾方 洋直
委員 松本 龍一

合志市介護保険条例の一部を改正する条例について

（高齢者支援課）
問 保険料率が、9段階から11段階に変わるが、なぜそうなったのか。また、今後3年間でどう変わるのか。

答 基準額以下の軽減分をカバーするための検討を行い、10、11段階を設けることが妥当と判断した。地域支援事業が一番変わる点になる。

【反対討論】 標準的保険料が5,200円から5,400円に上がる。9段階から11段階へと工夫されているが、利用者が負担が増え反対である。

【賛成討論】 保険料の負担率が伸びている状況にあるが、今回11段階へと軽くなるような努力がある。200円増になり大変であるが、介護保険制度の状況を踏まえて賛成である。

平成26年度合志市一般会計補正予算（第7号）

（福祉課）
問 臨時福祉給付費の減額について未申請者への周知について。
答 予算計上の段階では1万円支給対象者を9,500人、5,000



平成27年度合志市一般会計予算

（高齢者支援課）
問 ふれあい館の施工管理委託は随意契約となるのか、屋根の雨漏り部分は入っているのか、時期や外壁のひび割れはどうするのか。

円の加算対象者を6,000人と見込んだ。最終段階で、基本額1万円を9,337人、加算対象者5,000円はその内、数として4,942人に支給している。加算対象者6,000人から4,900人に減じたことによる減額である。未申請者へは11月中旬に申請期限並びに申請勧奨の通知を行った。

（子育て支援課）
問 家庭的保育入所措置事業1,351万円の減額理由について。
答 当初予算で保育ママ5施設に55人入所すると予想していたが、最高で53人だった。また4月から40数名でスタートし、保護者の収入が高く、委託料が抑えられた事による。

（子育て支援課）
問 週2日のソーシャルワーカー、相談員3人体制でこなせるか、予算を含め福祉課との連携は。
答 女性と子どもに支援することであるため、社会福祉費の中に女性、子ども支援費として計上している。福祉課は、生活保護費の中に生活困窮者自立支援費として計上している。専門知識者の常勤配置が難しく、週2日の委託を考えている。相談員3人、職員2人、週2日のソーシャルワーカーで相談業務を行う。

平成27年度合志市国民健康保険特別会計予算

問 歳入、歳出の共同事業拠出金について、1カ月の医療費が80万円以下になった理由は。
答 歳入について、平成26年度までは30万円から80万円までを対象にしていたが、1円から80万円までになり、1円から30万円の部分が多くなった。その対象金額の59%が国保連合会から交付される。

【反対討論】 後期高齢者支払金として一般会計や国保から支出され、今の後期高齢者医療制度に反対であり、この支出にも認められない。

【賛成討論】 国民の医療福祉として優れた健康保険であるし、国民健康保険の運営上、負担金や交付金が必要であり賛成。

（在宅医療、介護連携推進事業）
問 在宅医療、介護連携推進事業について。
答 施設入所は要介護3以上となり、地域生活の高齢者が増える。在宅であり介護、医療も受けられるサービス提供の体制作りを行う事業である。



新設された特養ホーム